

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1				
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	第49回 森鴻会展	第11回再興新創美術展 (京都展)	再整備工事のため、本館は休館いたします。 (日展京都展は、12月-1月に別館で開催いたします。)																																		
	別館	日本大判 写真展 第42回 公募 昭和 美術会展 第40回記念 展 児童画 国際交流展	第34回日本京都・中国陝西書画合 同展併催 第3回日本・中国学生書画合同展 第56回 新作家集団展																																			
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第48回 新 協京都展 (洋画)	日本写道協会「写道展」	第41回 Q人の作品展 (洋画・工芸)		京都二紀展 (洋画)		35回 染翫会展 (染織)																														
	2F	第40回 関西美術 院展	又女社 水墨展	ヌフ展 (洋画・版画・工芸)		京都二紀展 (洋画)		第6回銀爪会日本画展																														
	3F	さくら会 書展	紫芳会書展・ 伴戸先生卒寿 記念作品展	鳥越ゆり子野草講100展+ (洋画)		紫苑の会 (パステル・水彩)																																
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	当館はリニューアル工事のため、2017年1月から2018年春頃まで休館いたします。 開館日は決まり次第、お知らせいたします。																																					
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	決定的瞬間・Henri Cartier-Bresson展 (日曜休館)																																					
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	中島千波展 -乾坤爛漫- (日本画)	microcosmic spirits (絵画・彫刻) 日下部雅生 型絵染展 -京を視る・京から見る-	日本画グループ 「星辰(せいしん)」		蒼晴会 日本画展 滝口和男-陶で知る観・ 薫・味・響を		黒光茂明展 (日本画)																														
	グランド ホール	デビュー 50周年記念展 池田理代子-「ベルばら」とともに-																																				
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	岩波昭彦 日本画展	宝永たかこ 絵画展	丸山友紀 日本画展		小川長楽 作陶展		オリビエ・デフォー展																														
	アート サロン	岩波昭彦 日本画展	中尾博恵 日本画展	絵画 温故知新展		マエストロ貴古 作陶展		石谷雅詩 日本画展																														
	ミュージアム	第68回 華道京展 前期 後期																																				
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	京都工芸の精華展 (月曜休館)																																					
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	春季特別展「明治の七宝」(4月より入館料改訂)																																					
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	芳年-激動の時代を生きた鬼才浮世絵師																								KYOTO GRAPHIE アエニスパー フォトコレクション													
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1				
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月				
アートギャラリー-北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	安食洋 絵画展	川村愛 日本画展	休廊														オガワヒロシ色鉛筆画展 風景色 KAZEKESHIKI X																				
	2F	山本都夫個展	かくれんぼ展 京都造形大油画4人展																																			
アーツスペース虹 三条上通都ホテル隣 761-9238	上野道子 展 (平面)	いまふくふみよ (染色)		山本篤子		北川雅光 (平面)		松本静明 (インスタレーション)																														
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	kyo to kyo展 (日本画) (月曜休館)		福田寛子展 (日本画)																																			
アートギャラリー-博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	ダニエル・ケリー展 (月曜休廊)		K 2展 第9+0.5回 (月曜休廊)		深田充夫 作品展																																	
綾小路ギャラリー-武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	揺滾社墨彩画展																																					
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	橋爪彩個展 「This isn't Happiness」(油画)		Lee Minho 個展 (写真)																																			
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	貸画廊受付中 (木版画常設展示)																																					
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																					
延寿堂ギャラリー-ソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	杉江智-クリスタル ガラスの器展	休廊	和田純子 ガラス展 (耐熱ガラス)		休廊		古川莉恵 ガラス・アクセサリー																															
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日・祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙都・熊谷守一 他																																					
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画・洋画常設展																																					
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062																									瀧下和之展 (17H14:00~17:00作家来廊)													
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	南川朋宣日本画展 (会期中無休) ~地球イチバン僕ニバン~																																					

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

大野 えつし 展

と き / 3月30日(木)~4月8日(水) 10:00AM~6:00PM
と ころ / 大雅堂 / 1F展示室 (会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「大野えつし展」を開催致します。三角コーンに描かれた有名人のアート。真正面から見ればそのまま写実的に私たちの目に映り、しかし角度を変えると、シュールな作品へと変貌します。いろいろな角度から一つの作品を楽しむことが出来、「正面から作品を見る」という概念をくつがえす半立体作品の数々。この機会にぜひご高覧下さいませ。

〈展覧会に向けてのコメント〉

三角コーンを使った作品の展示をさせて頂く事になり、大変、光栄に思っております。たくさんの方々に、今迄にない絵画の見え方を感じて頂ければ幸いです。今回は誰もが知っている有名人の顔を三角コーンに描いています。主に歌手シリーズでは、その人のレコードジャケットと共に表現しています。

〈日頃の制作のモチーフやコンセプト〉

私は普段、モノクロの風景や静物画を平面(キャンバス)に描いています。しかし最近は、絵が必ずしも二次元の平面である必要はないのではと思い、立体物に、二次元を表現する事を楽しんでます。立体に描かれた二次元の絵も、いろいろな角度によって、立体作品のように、いろいろな見え方をするのでおもしろいです。

大野えつし略歴

大阪府堺市出身 大阪市在住。

子供の頃から絵を描く事が好きで、現在、商業施設や店舗、博物館など多方面にわたり、壁画、看板などを描く仕事をしながら、独学で絵を描き続けています。

個展、グループ展:

- 1986 「いつまでもあると思うな2人展」大阪 梅田 画廊 みやざき
- 1987 「京都アンデパンダン展」京都 京都市美術館
- 1992 「スーパーリアリズム2人展」大阪 心斎橋 MOMA
- 1994 「ABENO SOHO OHNO NO.0 EXHIBITION」大阪
- 2005 「Back to 80's」大阪 南堀江 ギャラリー&カフェ めぶき (MEBUKI)
- 2006 「大野えつし展」京都 嵯峨野 ギャラリー 嵯峨野湯
- 2013 「氏家保典 大野悦司 二人展」大阪 生玉 SOHO ART GALLERY
- 2014 「TRANSNATIONAL ART 2014」大阪 江之子島文化芸術創造センター
- 2015 「不定形は冒険だ!」六人展 大阪 生玉 SOHO ART GALLERY
- 2016 「TRANSNATIONAL ART 2016」大阪 江之子島文化芸術創造センター
- 2016 「第45回 現代芸術国際AU 展」神戸 兵庫県立美術館

受賞歴:

- 1985 第6回 日本グラフィック展 準入選
- 1987 第40回 芦屋市展 入選
- 1994 第5回 堺東「UPル アート工房作品展」入選
- 1994 第5回 リキテックスピエンナーレ 入選
- 2016 第45回 現代芸術国際AU 展 Salon de Cuisine TIVOLI賞



橋爪彩個展「This isn't Happiness」

と き / 3月11日(土)~4月8日(土) 12:00~7:00PM
と ころ / イムラアートギャラリー 京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町31 ☎075-761-7372 (日月祝:休廊)

LEE Minho 個展「Fil blanc / Fil rouge」

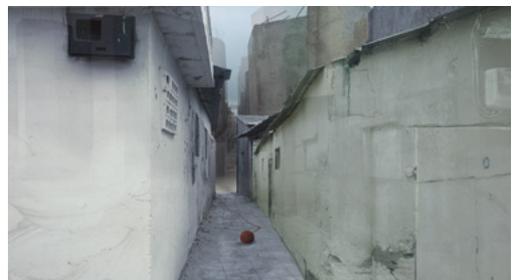
と き / 4月12日(水)~5月13日(土) 12:00~7:00PM
と ころ / イムラアートギャラリー 京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町31 ☎075-761-7372 (日月祝:休廊)

本展のタイトル「This isn't Happiness」には、様々な社会との接点を背景に、アーティストとして生きて行くことの決意が感じられます。表現者としての生活は、決して楽しいばかりではないでしょう。しかしそこから生み出される、美しいという言葉だけでは語りきれない彼女の作品は、常に人々を魅了して止みません。新作を含む5点を展示いたします。



橋爪彩 「les_amies」

リ・ミンホは「糸」に様々な意味を込めます。運命・因縁を示唆する赤い糸。ギリシャ神話の「アリアドネの糸」から連想させるような「迷宮」。白い糸玉は、かつて韓国経済を支えた繊維工場跡地を雲のように漂い、あるいは小島のように海上に浮かびます。廃墟に置かれた赤い毛玉から延びる一本の糸は「かつて」と「今、ここ」を結び、実体の無い白い糸の固まりは、シュルレアリスティックな様相で工場跡や海上を奇妙に漂いながら、わたしたちに経済的・社会的な 暗喩を想起させます。



「Fil rouge n 23」

井上有一展

と き／3月26日(日)～4月22日(土) 10:30AM～6:30PM

ところ／蔵丘画廊(会期中無休)

京都市中京区御池通寺町東入ル本能寺文化会館1F ☎075-255-2232

顔真卿の臨書でも知られる井上有一は、のちに書を大衆の芸術と位置づけ、文字として伝達するための書から、自由に解き放たれた美術の領域を模索する材料としました。しかしこの試みは一部の書道団体の試みとみられ、彼がサンパウロビエンナーレの日本代表として出展し、海外からの評価がそれを世界的な美術であるとするまで、いやそれ以降も国内美術界をはじめ市場では彼の存在は大きなものではなかったと想像します。

もともと絵描きになりたかった彼が書の道へ進み、前衛的表現へと移行したのは必然でもありました。一つの要因として、1945年の東京大空襲での経験とされています。国民学校の教員をしていた有一は宿直の際に学校へ逃げ込んでくる人々が目の前で焼夷弾に焼かれ死んでいく様子を目にします。その3000人の中から人工呼吸のおかげで只一人7時間後に奇跡的な生還を遂げたこと、亡き父の百日忌の作品が創作の開眼表現となり、いわゆる書壇での賞から脱却し、一度死んだ命を思う存分に芸術に生きることを選びました。

その後、長谷川三郎やイサムノグチらとの交流を通じ、抽象表現主義の潮流にある世界の美術家に自分たちの取り組む墨の作品が影響を与え、また刺激をもらうという美術の同時代性を生み出していきました。

ところで昨今世界の美術マーケットで彼の業績は再評価されていますが、当時の日本では彼らの作品に対する評価は、裸で大筆で描く奇異な書道というような印象のようでした。しかし60年代以前より海外の美術館での紹介が続いたこともあり、すでに1962年にはドイツの画廊などが取り扱いを始めていました。しかし彼自身は、作品による生活で芸術が人に求められる方向のものになることを避けるため小学校や中学校の教師を続けました。

1985年の死後、所謂“書家”としては前例無いことですが、京都国立近代美術館、埼玉県立近代美術館をはじめ国内7公立美術館での回顧展が開催されました。また没後10数回にわたり書の故郷、中国の美術館において『井上有一以降の書の可能性』を検証すべく彼の展覧会が開催されていること、さらに米国の美術館による20世紀美術の検証といった取り組みが、抽象表現主義との関わりの中で近年の本格的な彼の再評価になったことに起因していると思えます。

昨年の金沢21世紀美術館で生誕100年を記念する回顧展で驚異的な入場者数があったことは、これら世界の美術情報が身近になった証といえましょう。世界の美術がアジアを巻き込んでの潮流となり、有一の業績がさらに認識されることを願います。



〔現身〕 1981年作
77.1×117.6cm CRNo.81037

藤信知子陶展 『目ヲトジテミタマエ』

と き／3月31日(金)～4月5日(水) 10:00AM～6:00PM

ところ／京都陶磁器会館2階ギャラリー

京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

藤信知子さんの作品は面白い

ユーモアと原始的な力に満ちたシャーマニズムのようなものを感じるのだ。

なぜ、あのような造形が生まれるのか不思議に思っていたら、本人から、祖父の死をきっかけに非現実的な世界観、空想や妄想の世界といったものに関する作品を作りたいとの思いがあるとの話を聞いた。

そして作品を制作する中で、桃太郎など、昔の人達が空想した物語が今なお、語り継がれている事のすごさを感じているとのこと。昔話の登場人物たちは藤信さんのこころのフィルターを通して、生き生きと動き出し、命がけでいたずらをして回る…そんな気がする不思議な造形だ。

藤信さんは普段から「固定観念に縛られず、奇抜さ・面白さといったユーモアを大切にしたい作品」の制作を心がけているそうだが、その作品は本当に自由で、楽しい。

藤信知子さんにしか作れない、不思議な世界を、ぜひ、お楽しみいただきたい。

〈陶歴〉

1988 大阪に生まれる

2010 京都精華大学芸術学部 素材表現学科陶芸専攻卒業

個展「さらば愛しき日々 もう戻れぬ」ギャラリーアンテナ/京都

2011 トーキョーワンダーウォール公募 立体・インスタレーション部門

入選/東京都現代美術館

2012 京都精華大学 大学院芸術研究科 博士前期課程陶芸専攻修了

個展「花への挑戦状」ギャラリー恵風/京都

京都美術・工芸ビエンナーレ2012 入選/京都文化博物館/京都

他、グループ展 多数



明治・大正・昭和 名作発掘品展

—特集陳列・桜のある風景—

と き／4月1日(土)～4月23日(土) 10:30AM～6:00PM
 ところ／星野画廊(日曜・月曜休廊)
 京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

日本人の桜へ寄せる情感は、画家たちの五感を刺激して幾多の名作を生み出してきました。恒例になっている春の特集陳列「桜」です。桜の開花は西から東へと日本列島を順々に染め上げて、西の大震災の被災地から東の津波と原発被災地へも間断なく本格的な春を届けていきます。どのような経済的・社会的状況になっても私達は桜の開花を楽しみにし、また桜の落花のありさまに一抹の寂寥感さえ覚えてしまうのです。そうした桜に励まされ、慰められて、私たちは明日への活動の原点を見るのです。

今年も星野画廊にお出かけ下さい。お馴染みの桜の光景との再会です。



小川千甕「夜櫻」(軸装)
昭和初期頃 紙本彩色



辻 愛造「円山夜桜之図」
昭和5年 油彩30号



松村綾子「海桜」
昭和16年 油彩40号



中沢弘光「嵐峡小雨」
昭和初期頃 油彩10号



武藤 彰「紅しだれ(醍醐)」
紙本彩色 8号



久保田米僊「行春」(部分)
明治中期頃 絹本彩色



八條弥吉「桜」
明治後期頃 油彩12号

Part 1 「春を寿ぐ」

と き／4月4日～4月16日(月曜休廊)
 川村悦子(平面)・松井利夫(陶)・松本ヒデオ(陶)・八幡はるみ(染色)
 ところ／ギャラリー恵風 京都市左京区丸太町熊野神社前東入 ☎075-771-1011

ギャラリー恵風15周年記念展

Part 2 「小林 敬生展」—木口木版画 1978～2016—
 と き／4月18日～4月30日(月曜休廊)

〈1F〉 松井 利夫(陶) 八幡 はるみ(染色)
 〈2F〉 川村 悦子(平面) 松本 ヒデオ(陶)
 松井 利夫(陶)「再燃焼」
 '82～'84年イタリア国立ファエンツァ陶芸高等教育研究所にてエトルリアのブッケロの研究を機に沖縄のパナリ焼、西アフリカの土器、縄文期の陶胎漆器の研究と再現、'15年Art&Archaeology Forumを立ち上げ芸術と考古学の領域融合の研究を重ねる。

八幡 はるみ(染色)「赤と白」
 1982年京都市立芸術大学大学院修了。染めによる作品発表と同時にテキスタイル商品やパブリックアートも手がける。大原美術館工芸館、高島屋画廊X等で個展。東京国立近代美術館などにコレクション。現在、京都造形芸術大学教授。

川村 悦子(平面)「さくら咲く」
 1980年京都市立芸術大学専攻科修了。初期の「曇りガラス」シリーズや「蓮」シリーズ、また近年の日常に身近に出会う草花や風景を描いた油彩画による個展「ありふれた季節」を西宮市大谷記念美術館にて昨年開催。現在、京都造形芸術大学教授。

松本 ヒデオ(陶)「仮設の庭」
 1982年京都市立芸術大学大学院修了。古典的陶磁器からのイメージをベースに「水の境界・表層」「囲み取って賞でる」「ディテールの連鎖」等のテーマで制作。滋賀県立陶芸の森・国立国際美術館・東京国立近代美術館等で発表。

小林敬生 KOBAYASHI Keisei 画歴
 1964～68年、京都インターナショナルデザイン研究所に於いて上野伊三郎・リチ夫妻に指導を受ける。78年、第2回現代版画大賞展／優秀賞。88年、優秀美術作品として文化庁買い上げ。89年、第3回和歌山版画ビエンナーレ／優秀賞(第4回、第5回、買い上げ賞)。90年、第1回高知国際版画トリエンナーレ／佳作賞(第2回、大賞)。97年、多摩美術大学教授。91年、大阪トリエンナーレ 1991-版画／主催者特別賞(1997-版画／銀賞)。2006年、紫綬褒章。2007年、山口源大賞。現／多摩美大名誉教授、日本版画協会理事、日本美術家連盟監事



「レゾネ no375 陽はまた昇る
 一宙(そら)へ…2015A—」

北川宏幸 遺作展

と き / 4月7日(金)～4月19日(水) 10:00AM～6:00PM
 ところ / 京都陶磁器会館2階ギャラリー
 京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

去る2月20日、北川宏幸先生が61歳で急逝されました。本当に突然の悲しいお知らせに、言葉がありません。京都陶磁器会館では先生の作品展を開催させていただくべく、準備を進めている最中での突然の訃報でございました。そこでご遺族とご相談のうえ、遺作展として予定通り、北川先生の世界を皆様にご覧いただくこと「北川宏幸 遺作展」を開催させていただきます。

北川先生の作品は、一言でいえばエキゾチックでしょうか。生前、先生はご自身の作品について、遠く西域へ思いを馳せておられました。シルクロードを通して西域よりもたらされた文物を通して、遠くペルシャを望んでいらっしやったように伺っております。「昔の人のほうが、広い心で文化の交流をしていたのではないか…」と遠い目で語られていたことが昨日のようです。作品の隅々まで手を抜かず、ひとつひとつ丹念に刻み込まれた飛び鉋や、細かな点描には、一途に努力してこられた先生のお人柄が偲ばれます。会館では先生の作品のエピソードは尽きることがなく、関東から来られたお客様が、「やっと出会えた作品」と喜んでおられたり、大切な方へのプレゼントをどれにしようか、迷いに迷って最後に選ばれたり…とたくさんのお客様にご満足をいただいで参りました。先生のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに「北川宏幸遺作展」にたくさんの方がお運びくださいますことを願ってやみません。

〈北川宏幸陶歴〉

- 1955年 京都府に生まれる
- 1977年 京都造形芸術学院陶芸科卒業
在学中に木村盛康氏に弟子入り 以後4年間京都クラフト展入選3回
- 1978年 京都府陶工訓練校成形科卒業
- 1987年 京都府綴喜郡にて弥三郎窯を開窯
- 1988年 朝日現代クラフト展入選 新匠工芸会展入選
- 1991年 朝日現代クラフト展入選
- 1992年 サントリー美術館大賞'92 -挑むかたち-入選 札幌芸術の森クラフト展入選
朝日陶芸展入選
- 1994年 京展入選
- 1995年 新美工芸会展奨励賞
- 1996年 日清めん鉢大賞展入選
- 1997年 新美工芸会展シンボ工業賞
- その他 東武百貨店池袋店アートサロン他、京都・大阪・東京にて個展
- 2017年 心筋梗塞にて急逝。享年61。



黒田暢・黒田富紀子展 / 三女・吉岡三紀遺作展

と き / 4月11日(火)～4月16日(日) 12:00～7:00PM
 ところ / ギャラリーヒルゲート
 京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

2014年の春に黒田暢、富紀子と3人の娘たち展として5人展をいたしました。私自身初めての家族展で、少し照れながらも展示してみてその面白さも味わえ、いい機会をいただいたと思えました。何年か経ってまた出来れば良いなと思っていましたが、私の一番下の妹である吉岡三紀が、昨年交通事故で亡くなり、5人展は最初で最後の展覧会となってしまいました。5人展から3年経った春にギャラリーヒルゲートの人見様に、両親と三紀の3人展を企画していただくことになりました。両親は制作する事で、日常をなんとか取り戻せました。三紀はもっともっと作品を作るつもりで、展覧会もしたがっておりました。「また続きしに来るしね!」とばかり古新聞は敷きっぱなしで、買い足したばかりの染色材料もそのままです。本人が出品したかった作品は選べてないかもしれませんが、両親とのいい展覧会になる事を願っております。(黒田三紀)

悲しみの中にあって三人展の実現を決意された黒田先生ご夫妻、そこに脈々と流れる作家の魂に深い感銘を受けました。どうぞご高覧いただきたく御案内申し上げます。(ギャラリーヒルゲート)



黒田 暢 「立春好日」

- 1948 京都市立美術専門学校図案科 卒業
- 1949 日展 入選 ('74特選)
- 1954 京展 市長賞、('57読売賞 '60市長賞 '86京展賞)・朝日新人賞
- 1971 日本現代工芸美術展10周年記念賞
- 1983 京都美術選抜展 ('84 '92 '94)
- 1995 現代美術の工芸展 出品
- 1999 京友禅 きょう・きょう・あした 目黒美術館
- 2017 日展退会
- 現在 京都嵯峨芸術大学名誉教授、京都工芸美術作家協会会員



吉岡三紀 「Best The Beast」

- 1987 嵯峨美術短期大学版画科専攻科 卒業
- 1991～'93 父黒田暢に師事(蠟けつ染)
- 1991～個展/ギャラリーレビュー(大阪)、ギャラリー三条(京都)、デザインフェスタギャラリー(東京)グループ展/ぎやうりい西利(京都)
- 1998 二紀展 ('00 '01 '03 '05) 入選



黒田富紀子 「凍々」

- 1954 京都市立美術大学西洋画科 卒業
- 1955 同大学専攻科中退 二紀展初入選
- 1955～'59 同大学西洋画科研究室助手
- 1961 京展 中部日本新聞社賞、'63紫賞
- 1989 美術選抜展 ('90)
- 1991 二紀展 女流画家奨励佐伯賞
- 1994 二紀展 鍋井賞
- 1996 「ボテロと私」講演-大丸ミュージアムサロン
- 2012 二紀展 成井賞
- 現在 二紀会委員、日本美術家連盟会員、絵画教室「紅梅アトリエ」

渡辺聖仁 絵画展

と き / 4月13日(木)～4月25日(火) 11:00AM～6:00PM
と ころ / ギャラリー正観堂 (水曜休廊)
京都市東山区新門前西之町211-3 ☎075-533-4110

1957年愛知県生まれの渡辺聖仁さんの絵画展を開催します。1980年に愛知県立芸術大学日本画科卒業後、1984年～93年まで声楽家の奥様とウイーンに滞在された渡辺さんは、バウハウスの影響を受け、パステル・鉛筆・インク・水彩などを使った混合技法で抽象作品を描かれるようになりました。

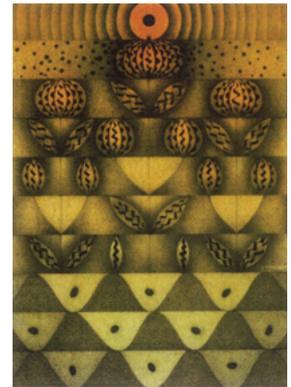
今回出品される〈ミトス〉は、三つのギリシャ神話から着想を得ています。画面左側は“ダナエ”、中央は“運命の女神”から、そして右側は“ヴィーナスの誕生”よりイメージして人間にもたらす厄災や悪といった絶望とその後に残った微かな希望の混沌とした間で、当てもなく不安げに浮遊する人間の存在を表現しています。〈植物譜Ⅱ〉では、植物の一生をモチーフとして、植物の持っているどの様な環境に置かれてもその与えられた場所でただひたすら自分であり続ける強固な遺志によって自己完結する姿に、自分を重ね合わせて制作しておられます。

最近では、禅への関心から「モノクロームへの親和性を感じつつ人間の精神を覚醒させる作品を…」と念じながら描いているとの事です。

正観堂の和風空間の中で作品が同どう映るのか、ご高覧賜ります様ご案内申します。



「ミトス」



「植物譜」

[新入会画廊紹介]

アトリエ・ギャラリー 梧桐 Gallery Aogiri

所在地：〒605-8334 京都市左京区岡崎南御所町40
TEL：075-752-2058
代表者名：片桐正恵
画廊区分：企画／貸画廊
営業時間：11:00AM～6:00PM
定休日：月曜日
貸料金：120,000 (1週間)



ギャラリー梧桐(あおぎり)は、昨年10月にオープン致しました。染織若手作家の企画展をかかわりに著名な染織工芸作家の方々に御協力を得て6月迄一連の企画展を開催しております。

その後秋より、染織を中心に貸ギャラリー及びアトリエと幅を広げ、美術に携わる方々の作品発表の場として頂きたいと考えております。

一度是非ご見学にお越し下さいませ。

松本健宏作品展—蠶染・造形—

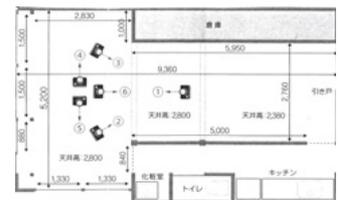
と き / 4月11日(火)～4月23日(日)

「ヒビノクラシ」

京都市内在住の作者は、京都府綾部市陸寄町古屋のアトリエへ通い制作している。この作品は、その集落がモチーフである。京都府最小の集落で住民4人、そのうち3人は80代後半と90代前半の女性である。府道から7キロの山道の行き止まり。厳しくとも自然豊かな環境でたくましく、心豊に生きる人々の人間力、さらには人間が何者で、何を大切にしているのかをも語っている様な世界が広がる。



18曲1隻であるが、現在10隻まで完成。 「ヒビノクラシ」(蠶染、墨、絹) 200×92cm×18枚



(画廊平面図)



齋藤 修個展 「宇宙へⅡ」

と き／4月8日(土)～4月23日(日) 1：00PM～7：00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

関西における木口木版画技法の第一人者・齋藤修(1946年鳥根県生まれ、京都府在住、日本版画協会会員)の3年振りとなる地元京都での個展。木口木版画と水干絵具による絵画の新作・近作を発表する。

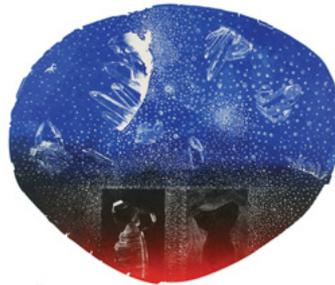
作者は十年ほど前から、「生起」と「消滅」を強く意識するようになり、意識作用におけるその境界を意味する「識闕(しきいき)」、また仏教用語で対象を識別する心の働きを意味する「識」を、併せて作品に表現しようとしている。

木口木版画では、明滅する宇宙と水晶の生長を主題にした深遠な時空世界を、椿大木の幹の断面の自然のままの形の中に細密に彫り刻む。創作の間、作者は夢想到に耽りながら、時空世界を浮遊するような気分に入るという。画中には微細な光の粒子のような球体が無数に飛び交っている。

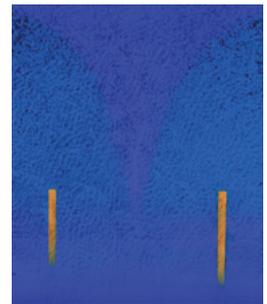
近年は、硬い木口に形象を彫る木版画の制作とは対照的に、日本画に用いられる水干絵具のブルーを主色とした流動的な抽象絵画も描くようになった。新たな画材と技法により、モノクロームの宇宙は、今、青い光を放ちながら、その幻視の時空世界を無限に膨張させている。



“Neverland Chaos-I”
木口木版画 38×36cm



“Neverland Color IX”
木口木版カラー刷り 27.2×32cm



“In the Blue Perception IX”
パネルに水干絵具
45.5×38cm

第22回 近代絵画作品展

と き／4月22日(土)～5月5日(金・祝) 10：00AM～5：30PM
ところ／ギャラリー鉄斎堂 (会期中無休) ☎075-531-6164
京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262

恒例の近代絵画作品展の季節がやって参りました。今回も大正時代の近代絵画の幕開けから昭和末迄の日本画を中心に1万円から1000点余りを真蹟保証で展示即売させていただきます。春のひとときお誘い合わせの上、お気軽に来店くださいませ。

主な出品作家 富岡鉄斎、竹内栖鳳、上村松園、小野竹喬、村上華岳、土田麦僊、福田平八郎、橋本関雪、堂本印象、徳岡神泉、入江波光、富田溪仙、池田遙邨、秋野不矩、横山大観、鏑木清方、川合玉堂、前田青邨、安田靉彦、棟方志功、宮本三郎ほか
寛次郎、蘇山、竹泉、永楽、六兵衛、竹雲斎、弥弍、八木一夫、深見陶治、川瀬忍、隠崎隆一 ほか



土田麦僊「燕子花」



富岡鉄斎
「六六鱗登龍門図」



秋野不矩「アフガニスタン風景」



脇田 和「鳩」



河井寛次郎「花扁壺」

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	
企	画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	展示休廊・土日祝日休業																																
企	画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																																
貸	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	洋服とアクセサリ 廣瀬光美 (不定休)					表現画房たけ 「たけの世界展」 河村武明					伊藤伸太郎展																						
貸	ギャラリー梧桐 左京区岡崎南御所町40 752-2058	松本健宏作品展-蠟染・造形- 「ヒビノクラシ」																																
貸	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979	狂言と桜を描く展 (松本祐佳) (月曜休廊)															桜と「アジアの旅」 (松本祐佳)																	
貸	ギャラリーカト 中京区寺町御池下ル 231-7813	1F	チャールズ会 小品展	蒼樹会展					静蓮 今井梅男彫刻展					桃夭会展					すす竹展															
貸	ギャラリーかもがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	2F		燐展					三浦・金善伊・宮古 三人展					龍谷大学美術部 あいちすと展																				
貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通橋手東入 551-3828	皆様のご利用をお待ちしております。 (日曜休廊)																																
貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	第22回 泉地靖雄と 仲間展					第14回 ランディ・ソシエテ展					染めと 織り in 祇園					第21回 一佑会 能面・能桃山展					第2回グループ愛 裸婦クロッキー展												
貸	ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	カティア スワ フォード					グループ洛彩展										青野平 パステル画個展					宮本絵画教室 作品展												
貸	Gallery G-77 小川通丸太町下ル 755-7695	桜並和春 (洋画)					金剛仏子公泉と花天人観美展 (彫刻・日本画) (月曜休廊)										卒寿記念 小柳晟展 (月曜休廊)																	
貸	ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518	STEPHAN Spicher (シュテファン・シュピーヘル) ELEMENTALS (日・月休廊)																																
貸	ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F	新鋭木 版画 作家展	ギャラリー恵風15周年記念展「春を寿ぐ」(月曜休廊) 1F: 松井利夫・八幡はるみ (陶芸・染色) 2F: 川村悦子・松本ヒデオ (平面・陶芸)										ギャラリー恵風15周年記念 (月曜休廊) 小林敬生展 (版画)																				
貸	ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
貸	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	常設展 12:00~17:00 (土日祝休廊)																																
貸	ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616	「寶船・空」 -静寂の南部鉄-																									三樹正典 展							
貸	ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	布楽工房 布遊び					卯 咲暉展 (日本画・アクリル画・水彩画)					アトリエ喜心の 第2回教室作品展					オルゴールと木工展					春 桜・再び (パッチワーク生徒作品展)												
貸	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	櫻井類 個展 「何も映さない鏡に浮かぶ」(絵画)					嶋田元業妃展 Motion-drawing in Photography (写真・映像・インスタレーション)										岸田良子展 「TARTANS」(絵画)																	
貸	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展 伊藤若冲・白隠慧鶴・鴨居玲・熊谷守一 他																																
貸	ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738	貸ギャラリー受付中																																
貸	ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390	春に聞き ました」 陶&織																																
貸	ギャラリーLittle House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	宇宙女子博					川合朋子展					松本王華 グループ展					久保田・永井 グループ展																	
貸	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展 (6・9・18・19日休廊)															第22回 近代絵画作品展																	
貸	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632																																	
貸	ギャラリー中井 中京区木履町三条上ル 211-1253	川端 英一展		今村行子作品展					山本テツヒコ展					天野達夫陶展					小西道子展															
貸	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																
貸	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	谷口 淳一	大杉真司舞妓展 (油)					黒田暢 (染)・富紀子 (油)					山口賛治展 (油彩)					伊庭新太郎展 (油彩・水彩) (二科会常務理事)															
貸	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	2F	彫刻展	烏海太郎版画展					三女・吉岡三紀遺作展					日高理恵展 (銅板)																				
貸	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月
④ ④ ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	村田彩展		島津洋展 (木彫)								大野素子展				大野素子展																
	4F	2.5次元 - 絵画考 -		2.5次元 - 絵画考 -				大谷一生・敏子 (絵画)				大谷一生・敏子																				
	5F							朴陶会 (陶)				岡田露愁展				岡田露愁展																
④ ④ ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997						幹の会 (日本画)				コムラドリ				樺の会				花梨の会														
④ ④ ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	IKIRU 松永恵子展					心の彩 笠井季美展				龍爪梅花皮 岩崎政雄展 (月曜休廊)				藍とジュエリー展																		
④ ④ ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450		谷口左和子 陶展																														→5/5
④ ④ ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		龍馬と酢屋 常設展 (水曜休廊)																														
④ ④ ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		常設展 (水曜休廊)				休廊				渡辺聖仁展 (絵画) (水曜休廊)				休廊				常設展														
④ ④ ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321		齋藤修個展「宇宙へII」												休廊												→5/8						
④ ④ ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		天田毅 青白磁 & 春の茶道具展 (10・17・24日休廊)																														
④ ④ ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	水彩画 うさぎの会展	貝川代三第16回水彩画展 「京の風景」								スケッチサークル葵 水彩画展																				
		2F	中尾絵画 教室展	寺田みのる京滋教室 水彩スケッチ展				雅堂会 木版画春の作品展								希楽会水彩画展																
	2号館	1F	書と墨画 宮本沙海展	高原綾子個展Ⅲ ウィービング(手織り絵)				川畑通世子作品展 (パッチワーク)				川畑通世子作品展 (パッチワーク)				手工羅布都展 (ハンドクラフト展)																
		2F	今昔御伽草子				黄野俊明 油彩画展																									
④ ④ 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸しギャラリー受付中																														
④ ④ 京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 253-1509		休館												京芸 transmit program (月曜休館)												→5/21						
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月		
④ ④ 京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000		展覧会「LEAN ISSUES」																														→5/14
④ ④ 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305		このひと どんなひと? 学校を飾った人物画												学びやタイムスリップ-京都の美術と学校 (水曜休廊)												→6/27						
④ ④ 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931		清永安雄写真展 (無休)																														→5/14
④ ④ 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	安田宏定陶展				安田宏定陶展																										
	2F	藤信知子陶展 「目ヲトジテミタマエ」				北川宏幸遺作展				北川宏幸遺作展				西山高原アトリエ村展				橋本大輔・よし子 二人展														
④ ④ 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東河院東入 254-7902	作 品 展 覧	宮島浩一 アート/京都展				あすなろ会 押し花 アート展								自主事業 商業40周年記念 三木充代個展																		
④ ④ COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	未定																														
④ ④ 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636						朗読 講演 ←「鶴見俊輔の仕事」				上民映会 映画研				ライブ				上映会				詳しくは画廊HPで sakaimachi-garow.com										
④ ④ 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		貸画廊受付中																														
④ ④ 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		井上有一展 (会期中無休)												常設展												休廊	→5/7					
④ ④ しむらのおうち 左京区岡崎神宮道西側 762-2500		「語りかける花」 志村ふくみ・志村洋子の作品の特別販売と アトリエシムラの商品書籍などの販売																														
④ ④ 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		大野えつし展 (個展) (会期中無休)												常設展 (日祝休廊) (コンセプトアルリズムアート)												GW休廊 (未定)						
④ ④ 梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510		日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																														
④ ④ ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533		田上真也 陶展												伊砂久二雄・正幸二人展												清閑寺窯四代 杉田祥平茶陶展						
④ ④ 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊) 特集陳列: 桜																														
④ ④ 松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626		新古書画常設展示 (16日・月末休廊)																														
④ ④ 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		常設展 (火祝休廊)																														
④ ④ ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341														藪乃理子写真展 「風葬」																		

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 (京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中) 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>